PCW-1272K(16040)

施工説明書

シャワートイレ RV シリーズ

CW-RV2A 型 , CW-RV20A 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
シャワートイレの施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。
施工後は必ず試運転を行ってください。

用語の説明

警告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意……取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

- 施工説明書に従い、正しく施工してください。（指示実行）
  ※感電・火災・ケガの原因になります。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。
- バスルーム等、湿気の多い場所には設置しないでください。（水場使用禁止）
  ※感電・火災の原因となります。
- 修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。（分解禁止）
  ※感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。（ぬれ手禁止）
  ※感電の原因になります。
- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。（水かけ禁止）
  ※感電・火災の恐れがあります。
- ●交流 100V 以外では使用しないでください。
  ●タコ足配線はしないでください。（禁止）
  ※火災の原因になります。
- 確実にアース線をアースターミナルに接続してください。（アース接続）
  ※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
  ※コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。（指示実行）
  ※ 感電・火災の原因になります。
- ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。（禁止）
  ※感電・火災の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。（禁止）
  ※電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

⚠注意

- 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビ等を完全に洗い流してください。（指示実行）
  ※製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。（指示実行）
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。（指示実行）
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。（指示実行）
  ※凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。
- 水道水以外に接続しないでください。（禁止）
  ※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。（指示実行）
  ※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施　工　手　順

下記の施工手順に従い、正しく施工してください。

【施工手順】

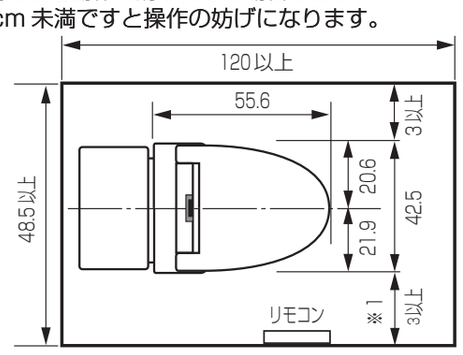
1 分岐金具の取付け → 2 本体着脱プレートの固定 → 3 シャワートイレ本体の取付け → 4 本体給水ホースの取付け（分岐金具側） → 5 通水の確認 → 6 電源の接続 → 7 リモコンの位置決め・取付け → 試運転

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

必要なスペースは？

シャワートイレを便器に取り付ける必要なスペースは図のようになります。
トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。
シャワートイレの左右はそれぞれ 3cm 以上の空間を確保してください。
3cm 未満ですと動作の妨げになる場合があります。
※ 1　3cm 未満ですと操作の妨げになります。



電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは **AC100V、定格消費電力 1249 W**に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を使用してください。
  すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- **定格消費電力に適した配線を行ってください。**
- **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1.0m です。

※ **施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。**
故障する恐れがあります。

便　器　の　確　認

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログ等にてご確認ください。

2. 本体給水ホース（同梱）の使用可能な条件

同梱の本体給水ホースは 95cm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 80cm 以内が適切です。

※ 80cm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-27（1.35m）または CWA-28（2m）を手配してください。
（同梱の本体給水ホースと形状が異なります。）

3. タンク給水ホース（同梱）の使用可能な条件

止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない場合があります。

- 止水栓とロータンクの間の距離が 15cm ～ 30cm の場合：
  タンク給水ホースが使用できます。
- 止水栓とロータンクの間の距離が 15cm ～ 30cm 以外の場合：
  タンク給水ホースが使用できません。
  取替用分岐金具 PK-CWA-89（右記「別売品」参照）の利用をおすすめします。

※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用する取付方法もあります。

使用する水は？

- **給水は必ず水道水に接続してください。**
  中水道や工業用水、井戸水等を使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- **給水圧力は 0.06MPa {0.6kgf/cm²} ～ 0.75MPa {7.5kgf/cm²} 必要です。**
  0.06MPa {0.6kgf/cm²} 以下の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- **給水は便器の止水栓から取ってください。**
  フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合等は、お求めの取扱店にご相談ください。

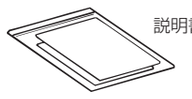
準備工具

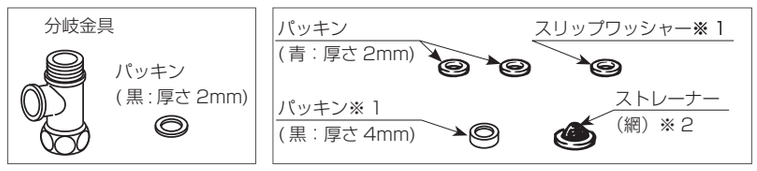
取付セットの工具が入っていない場合、準備してください。

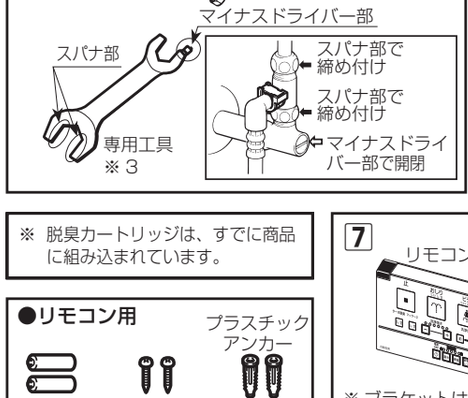
モンキーレンチ（26mm 以上調整可のもの）またはスパナ類 (23~26mm)

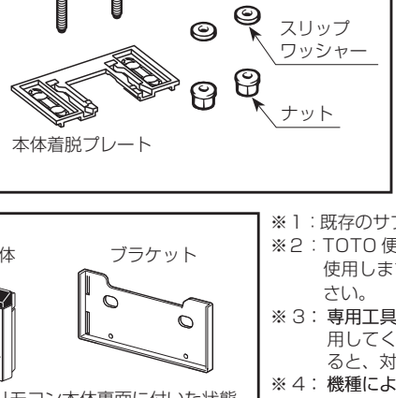
同梱部品の確認（梱包内容を確認してください。）

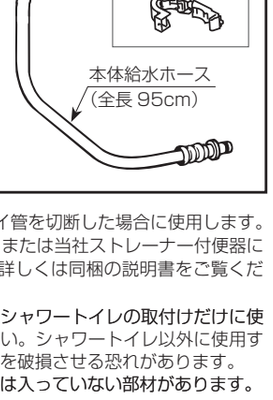
□内の数字は、施工手順の番号を示しています。



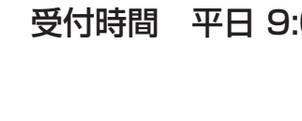
1


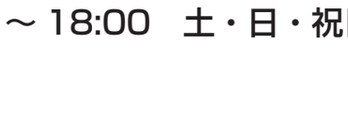
取付セット ※ 4


2


3 4


※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

●リモコン用


7


※ ブラケットは、リモコン本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。

※1：既存のサプライ管を切断した場合に使用します。
※2：TOTO 便器、または当社ストレーナー付便器に使用します。詳しくは同梱の説明書をご覧ください。
※3：**専用工具は、シャワートイレの取付けだけに使用してください。**シャワートイレ以外に使用すると、対象物を破損させる恐れがあります。
※4：機種によっては入っていない部材があります。

別売品

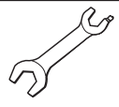
止水栓付分岐栓 (CF-006)
※シャワートイレ側の給水を止水できます。

取替用分岐金具 (PK-CWA-89)
※止水栓とロータンクのナット（給水部）の距離が 15cm 以下または、30cm 以上の場合におすすめします。
※ドライバー式、ハンドル式の止水栓に対応します。（内ネジ式の止水栓には取り付けできません。）
※止水栓の右側に 10cm 以上のスペースが必要です。

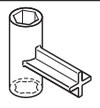
本体給水ホース (全長 95cm) (CWA-26C)

タンク給水ホース (全長 35cm) (CWA-24C)
※パッキン (青) とタンク給水ホースはセットではありません。それぞれを別途手配してください。

パッキンセット (200-640)

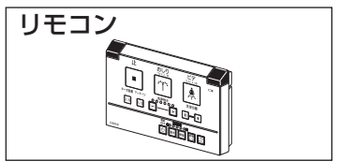


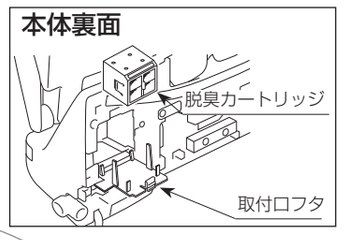
専用工具 (361-1002)

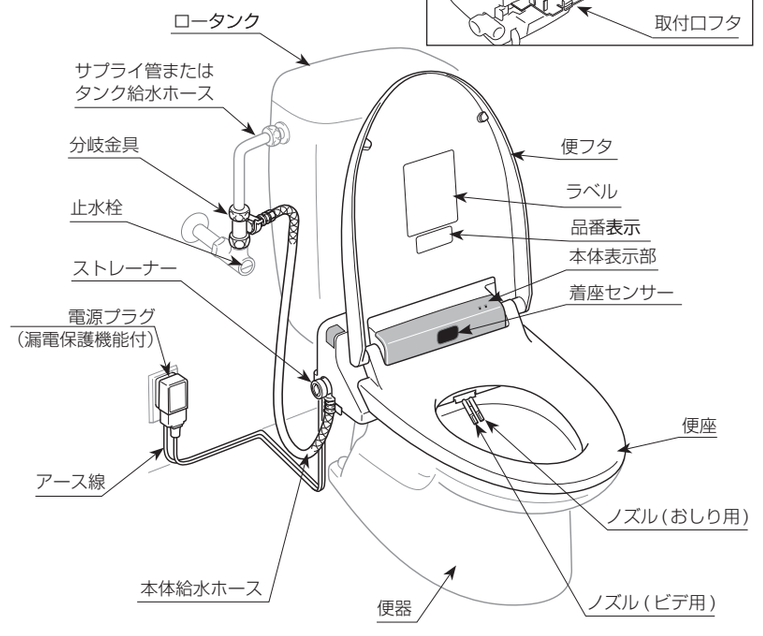


便座着脱工具 (RC-6420)
※別売品はソケット付です。

各　部　の　な　ま　え







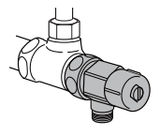
商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173

受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

施　工　手　順

1 分岐金具の取付け 注意 1 参照

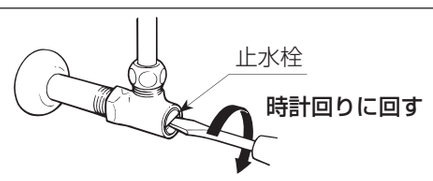
※右図のような他社製分岐金具がすでに取り付けられている場合は、別売の PK-CWA-89（取替用分岐金具）を手配してください。



1. 止水栓を閉めます。

便器の止水栓を⊖ドライバー等でいっぱいに閉め、給水を止めます。

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

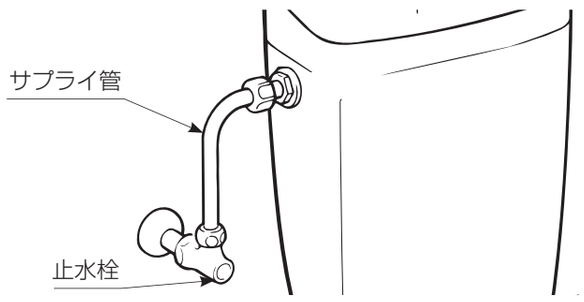


2. 給水の確認を行います。

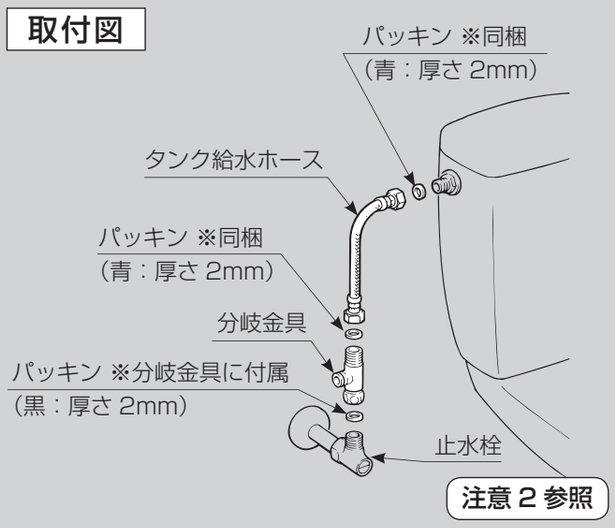
止水栓と便器（ロータンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付け方法が異なります。

■ 止水栓と便器（ロータンク）がサプライ管で接続されている場合

●サプライ管で接続されている場合

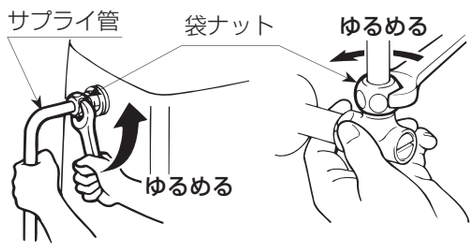


取付図



3. サプライ管を外します。

(1) タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。

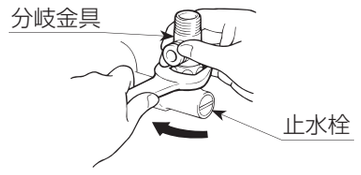


※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきん等を下に置いてください。

4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）

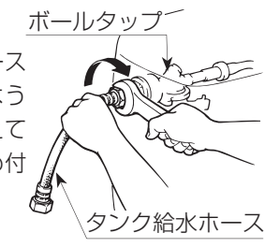


サプライ管を切断してを取り付ける場合は、裏面の**「補足 1」**をご覧ください。

5. 給水ホースを取り付けます。

(1) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れてタンク給水ホースをボールタップに取り付けます。

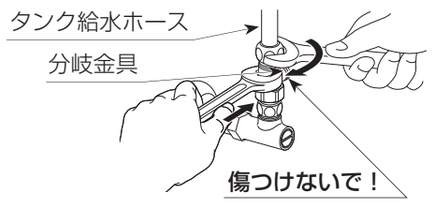
※ タンク給水ホースがねじれないように手で軽く押えて袋ナットを締め付けてください。



注意 3,4 参照

(2) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。

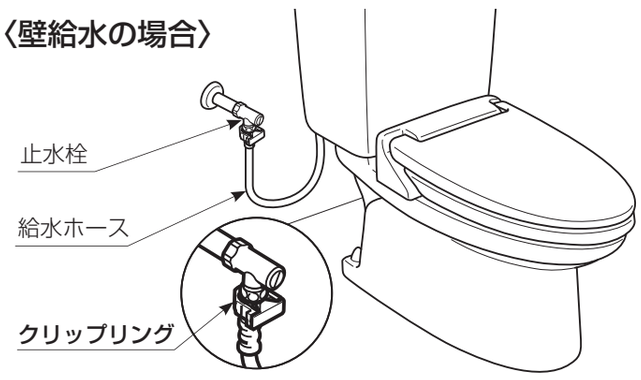
(3) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーレンチを当て、分岐金具を固定し、タンク給水ホースの袋ナットをスパナ等でしっかり締め付けます。



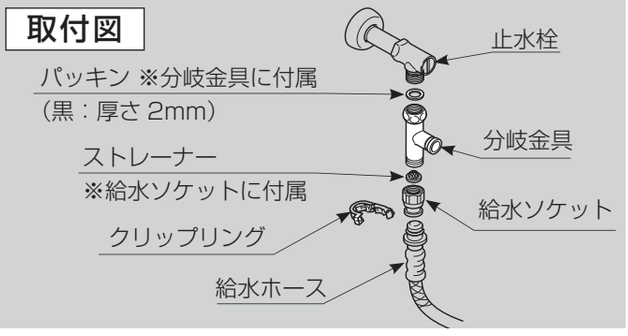
■ 止水栓と便器（ロータンク）が給水ホースで接続されている場合　※同梱のパッキンセットは使用しません。

●給水ホースをクリップリングで固定する場合

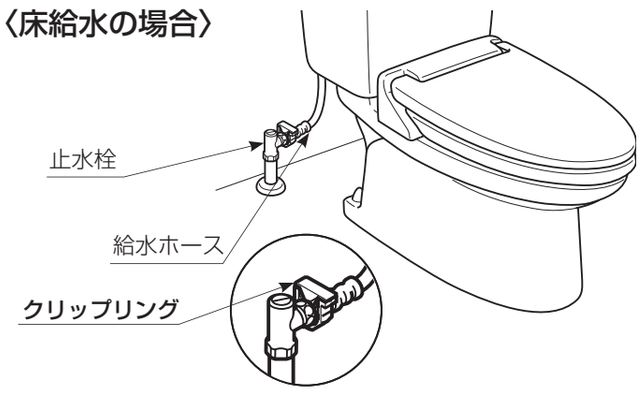
〈壁給水の場合〉



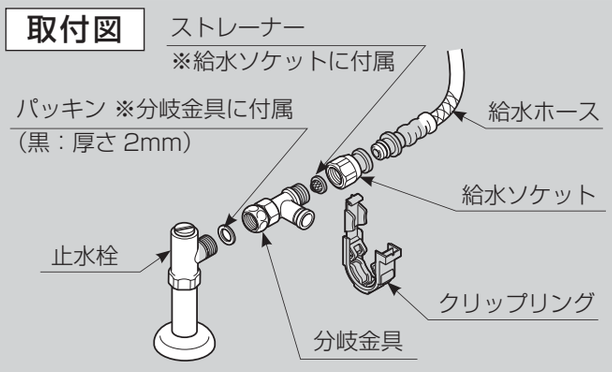
取付図



〈床給水の場合〉



取付図



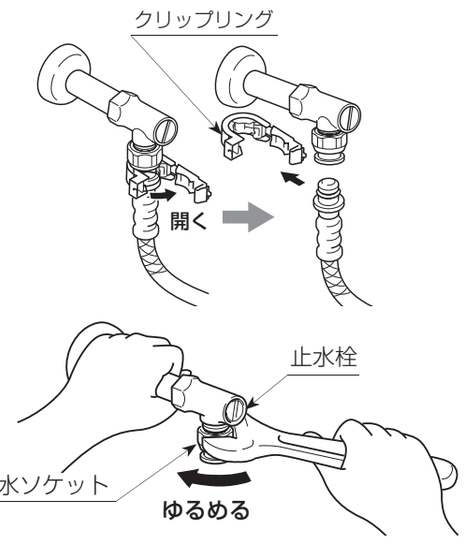
3. 給水ホースと給水ソケットを外します。

(1) 止水栓からクリップリングを外してホースを抜きます。

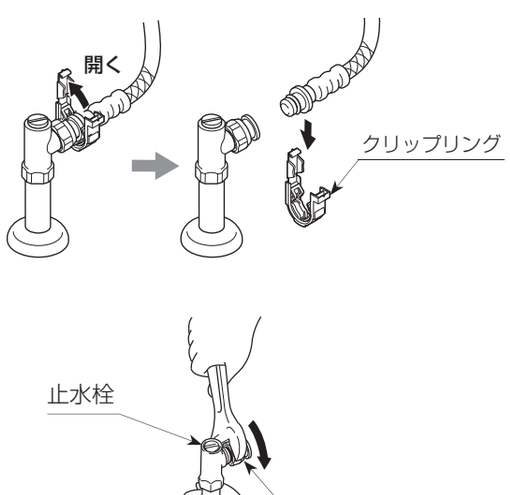
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきん等を下に置いてください。 参考 1 参照

(2) 給水ソケットとストレーナーを外します。

〈壁給水の場合〉



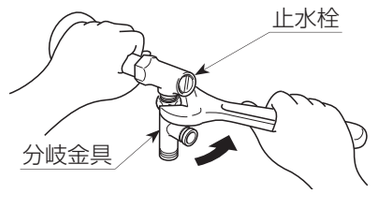
〈床給水の場合〉



4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）



5. 給水ホースと給水ソケットを取り付けます。

(1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。

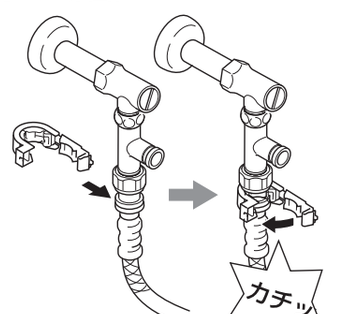
（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）

(2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップリングで固定します。

取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

注意 5 参照　注意 6 参照

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉

注意 1

●止水栓に分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006,PK-CWA-89 を使用してください。

※ 上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

注意 2

●当社製ストレーナー付便器の場合は、同梱のストレーナー付パッキンに交換してください。

（品番：26-10-2）

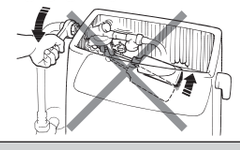
このとき同梱の青パッキン（厚さ 2mm）は取り付けないでください。

※パッキンセット袋に同梱の説明書も合わせてご覧ください。

注意 3

●ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付けてください。

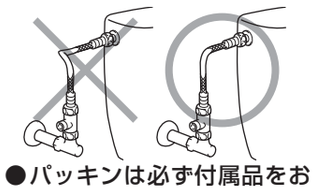
※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



注意 4

●タンク給水ホースは鋭角に曲げないでください。

※破損して漏水する恐れがあります。

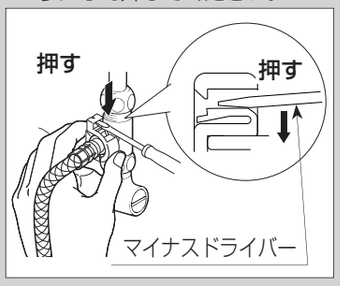


●パッキンは必ず付属品をお使いください。

※漏水する恐れがあります。

参考 1

● クリップリングを外す際は、クリップリングを指で押え、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押すようにして外してください。



注意 5

●O リングをキズつけないように注意してください。

※O リングが切れたり、キズついたりすると漏水します。

●クリップリングは確実にはめ込んでください。

※きちんとはまっていないと漏水します。

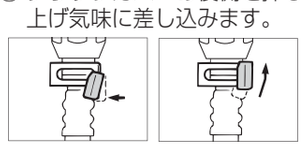
正しい付け方　悪い付け方

注意 6

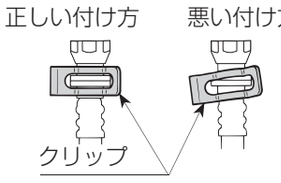
● クリップとクリップカバーが別体の場合は、クリップカバーは下記のようにはめ込んでください。

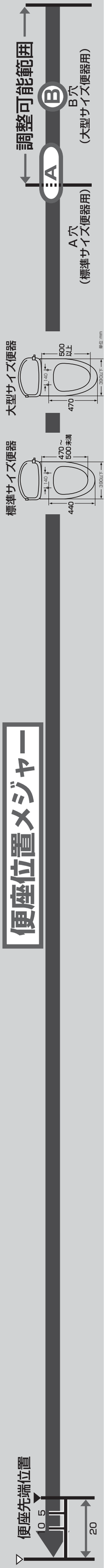
① クリップカバーをクリップに引っ掛けます。

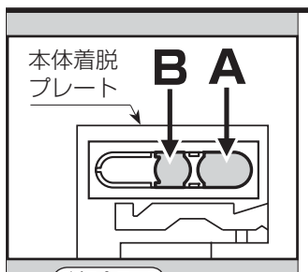
② クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。



正しい付け方　悪い付け方

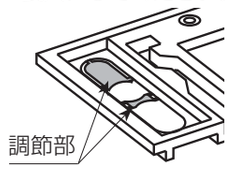






注意 7

●**本体着脱プレートの穴が合わない場合は、下図で示す調節部をニッパ等で切断して長穴にしてください。**



※切断後は、切断面をヤスリ等で仕上げてください。

参考 2

●本体着脱プレートは、ロックレバーを引いた状態で取り外すことができます。

注意 8

●**ナットの締め付けは片利きのないように左右くりかえし、少しずつ行ってください。**
※ズレの原因になります。

●**ナットの締め付け後、本体が確実に固定されているか確認してください。本体がズレる場合は、締付不足ですので、再度増し締めをしてください。**

●**手で締めにくい場合は、工具（対辺17mm）で増締めしてください。**

注意 9

●**電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。**

注意 10

●**本体を取り付けるときは、必ず付属の部品をお使いください。**

注意 11

●**O リングをキズつけないように注意してください。**
※O リングが切れたり、キズついたりすると漏水します。

●**給水ソケットは回りませんのでご注意ください。**

●**本体給水ホースがロータンクや壁等に干渉し、折れ曲がってしまう場合は、手順 1 を参考に分岐金具の向きを調整してください。**

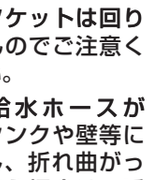
注意 12

●**クリップリングの先端がカチッと音がするまで確実にはめ込んでください。**
※きちんとはまっていないと漏水します。

注意 13

●**ロータンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がロータンク内側の壁に当たっていないか確認してください。当たっている場合は、以下の要領で直してください。**

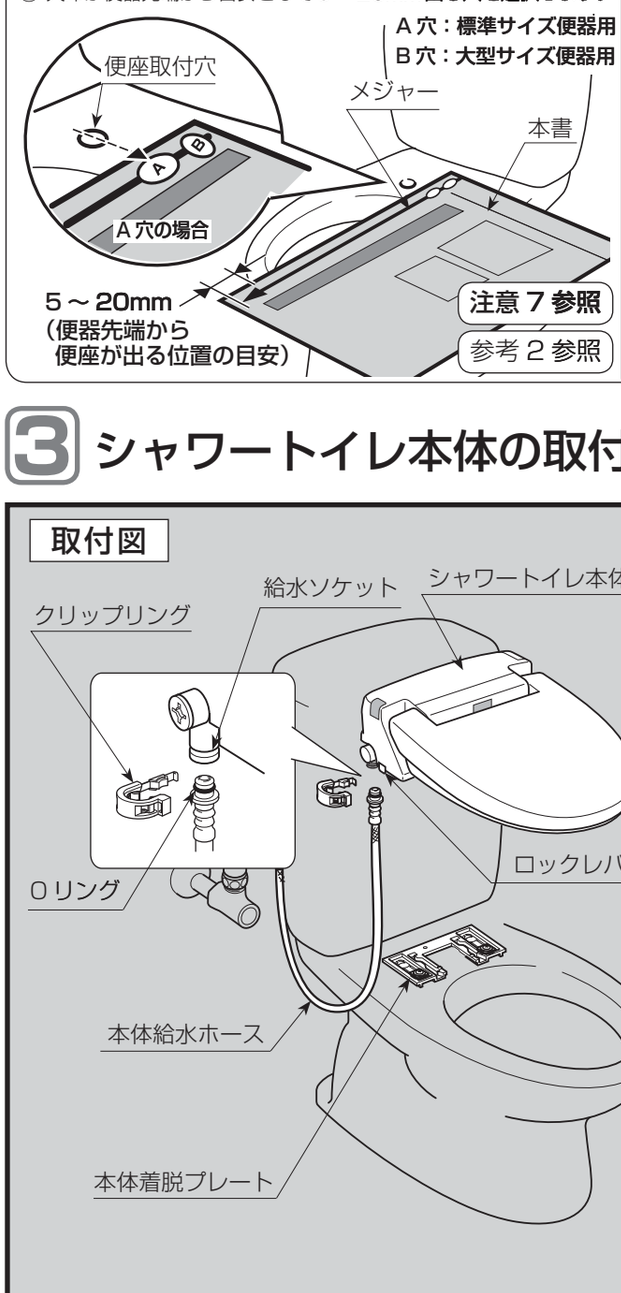
(1) **ロータンクのナットをゆるめて、ボールタップを垂直になるようにします。**



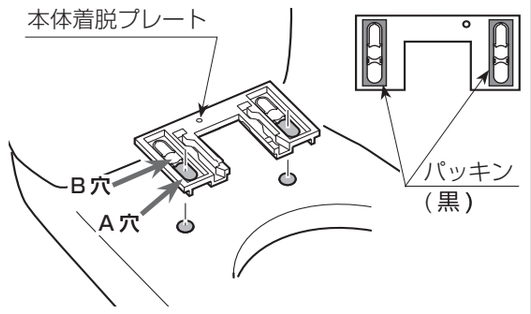
(2) **ボールタップを手で押え、ロータンクのナットを締め直します。**

2 本体着脱プレートの固定 ※既存の便座を取り外す場合は、【補足 2】をご覧ください。

(1) 本説明書左端のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、本体着脱プレートの穴を決定します。
① メジャーの A または B を便座取付穴に合わせます。
② 矢印が便器先端から目安として5～20mm出る穴を選択します。



(2) 便座取付穴と本体着脱プレートの穴を合わせます。
※ 本体着脱プレートの向きを間違えないでください。黒いパッキンがついている側を便器側に向けます。



(3) 本体取付ボルト 2 本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凹凸を合わせます。
(4) 本体取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通して六角ナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。
（参考：締付トルク 2.0～2.5N・m {20～25kgf・cm}）

注意 8 参照

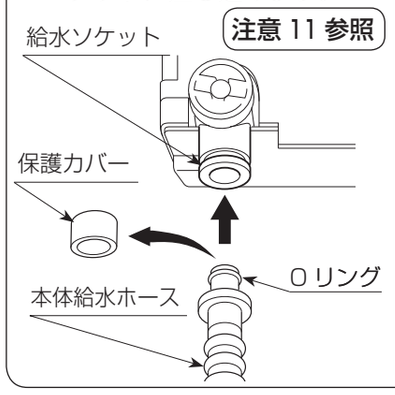
● **半球パッキンは、球面部が陶器側ですので組付方向に注意してください。**

3 シャワートイレ本体の取付け

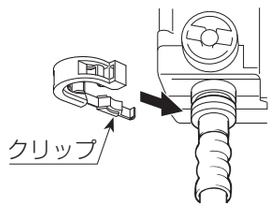
取付図

1. 本体給水ホースを取付けます。（本体側）

(1) 給水ホース先端から保護カバーを外します。
(2) 本体給水ホースを給水ソケットに差し込みます。

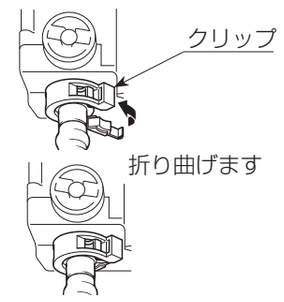


(3) クリップを本体給水ホースと給水ソケットに差し込みます。
※クリップに方向性はありません。



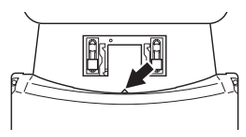
(4) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。
取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

注意 12 参照　参考 1 参照

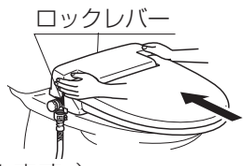


2. 本体を取り付けます。

(1) 本体を本体着脱プレートの手前に置き、プレートの中心と本体背面部にある凸部を合わせます。

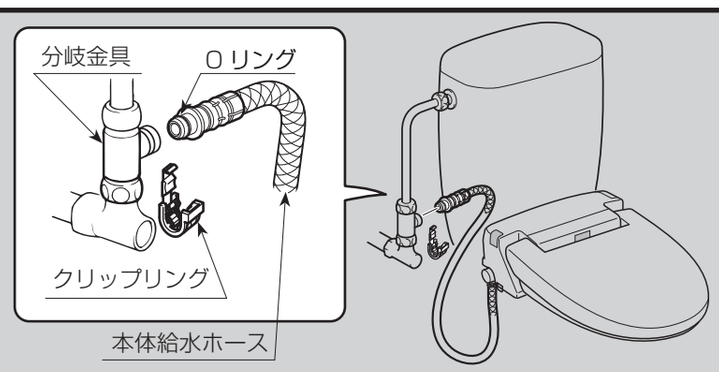


(2) 本体をゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。
（ロックレバーが自動で「カチッ」と引っこみます。）
本体を手前に引き、外れないことを確認してください。

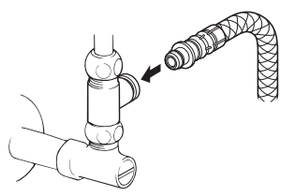


4 本体給水ホースの取付け（分岐金具側）

取付図

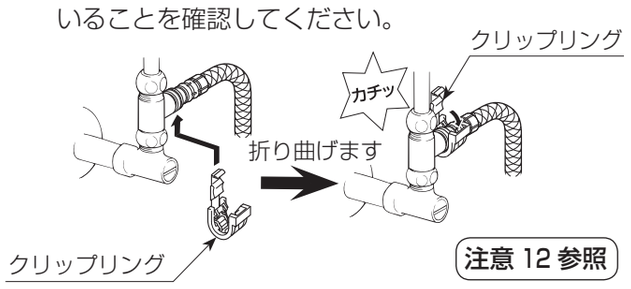


(1) 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを分岐金具に差し込みます。



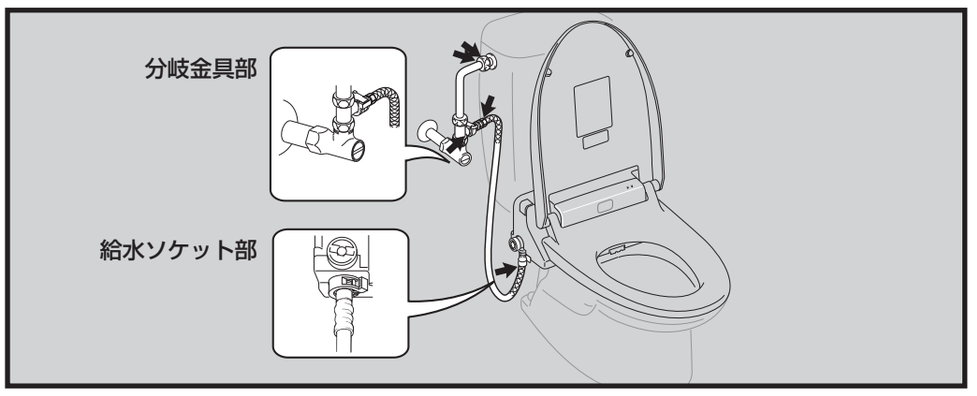
注意 11 参照

(2) 本体側と同様にクリップリングを取り付け、クリップリングを回して確実にはまっていることを確認してください。
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

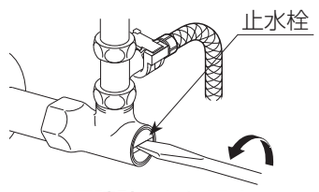


注意 12 参照

5 通水の確認



(1) 止水栓を元の位置まで反時計回りに回して開き、ロータンクおよびシャワートイレに給水します。



(2) ロータンクの洗浄ハンドルを操作して各接続部の漏水がないことを確認します。
※ 漏水する場合は、ナット類を締め直すか、再組付けしてください。

(3) ロータンクに水がたまり、そのあと確実に水が止まることを確認します。
※ ロータンクに水がたまらなかったり、または水が止まらない場合は、ボールタップと浮玉を確認してください。

注意 13 参照

6 電源の接続

(1) アース線を接続します。
(2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(3) 本体表示部の電源ランプ（緑）が点灯することを確認します。
もし、電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプ（緑）が点灯することを確認します。 注意 14 参照

電源プラグを差し直すときは、１０秒程度時間をあけてください。

⚠ 警告

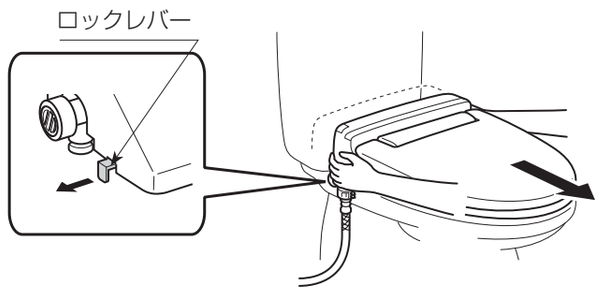
確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
アース接続
※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

7 リモコンの位置決め・取付け

リモコンに同梱されている施工説明書に従って、リモコンを取り付けます。

■本体の外し方

(1) ロックレバーを引きながら、本体を一番手前までスライドさせます。
※本体が完全に突き当たるまでスライドさせます。
(2) 再度、ロックレバーを引きながら、本体をスライドさせ取り外します。



試 運 転 （施工が終ったら、次の要領で試運転を行います。）

1. 電源が入っていることを確認します。

2. おしり洗浄を確認してください。

(1) 着座センサーを紙や布で覆ってください。
※ 人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭は、着座していないと作動しません。

(2) リモコンのおしりスイッチを押します。
このとき、シャワーが噴出しますので、周囲に飛び散らないように手の平で受けます。
シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

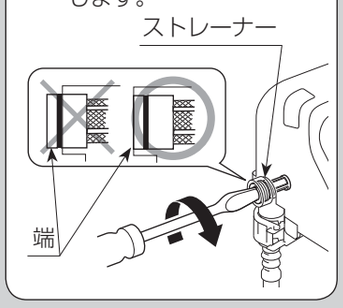
3. ビデ洗浄を確認してください。
おしり洗浄と同じようにリモコンのビデスイッチを押します。ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約 25mm 前にシャワーが噴出します。

注意 14
●リセットボタンを押しても、電源ランプ（緑）が点灯しない（電源プラグの「切」ランプが点灯する）場合は、200V が通電されていないか確認をしてください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

注意 15
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、取付部分に段差がなくなるまでしっかり締めてください。
※ストレーナー部から漏水します。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。 注意 15 参照

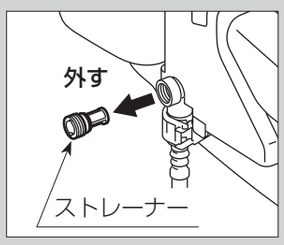
(1) 止水栓を閉めます。止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

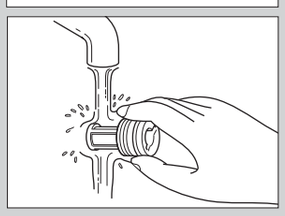
(2) 本体向かって左側のストレーナーを外します。
このとき、洗面器等を下に置きます。
※工具が届かない場合は、本体を外します。

(3) ストレーナーを掃除します。

(4) ストレーナーをしっかりと締め付けます。

(5) 止水栓を元の位置まで開きます。





お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合の注意

(1) 止水栓を時計回りに回して閉め、タンクへの給水を止めます。(寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。)

(2) マッサージスイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで２秒以上押します。
※電源ランプと節電ランプが交互に点滅します。
※約 20 分後に自動的に解除されます。

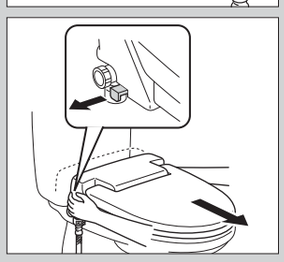
(3) 止水栓からホースを外し、給水ホース内の水を抜きます。

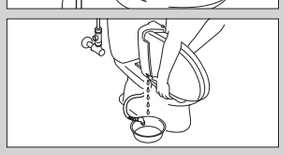
(4) 本体から水を抜きます。

①本体向かって左側のストレーナーを外します。このとき洗面器等を下に置きます。

②本体向かって右側のロックレバーを引きながら、手前にスライドさせ、本体を便器から外します。

③本体を左に傾けて、ストレーナー取付口から本体給水ホース内の水を抜きます。
※水は少しずつ「ポタポタ」と出てきます（約 10 ～ 15cc）。水が出なくなることを確認してください（約 20 ～ 30 秒かかります）。
※水が電源コード、電源プラグ、コンセントにかからないようにしてください。
（ホースからも多少水が漏れる場合があります。）





④水抜き完了後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。

⑤本書 3 の手順に従って、本体を便器に取り付けます。

⑥本書 4 の手順に従って、給水ホースと取り付けます。

(5) 止スイッチを押します。

(6) 電源プラグをコンセントから抜きます。

注意 16
●各部品の向きと順序を間違えないでください。
※間違えると漏水します。
●既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース (品番 : CWA-24C) を使用してください。
※漏水の原因になります。

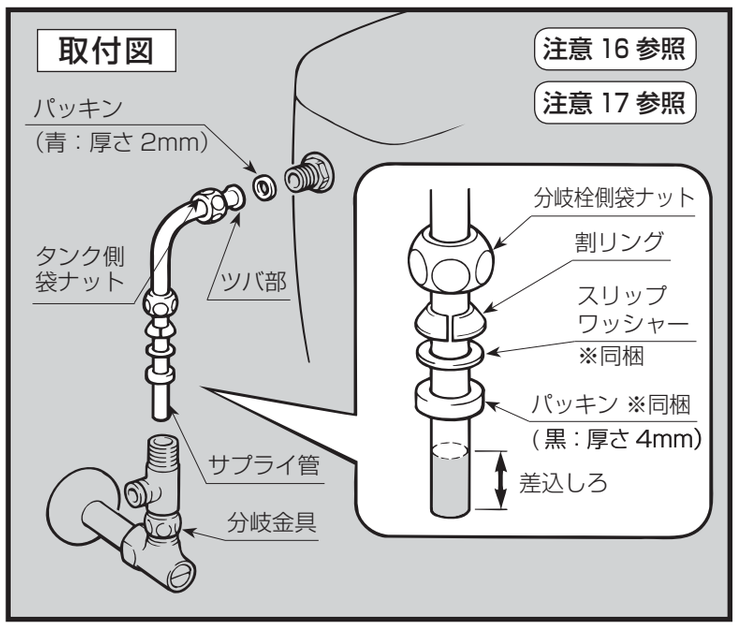
注意 17
●止水栓やサプライ管に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。

注意 18
●サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。
●サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗い等で完全に切り粉を取り除いてから接続してください。
●止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定してください。
※漏水の原因になります。
固定できない場合はタンク給水ホース (品番 : CWA-24C) をご使用ください。

注意 19
●サプライ管の接続は確実に行ってください。
※袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

参考 3
●便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
●取り外した便座は、引っ越しのこと等を考え、保存しておくことをおすすめします。

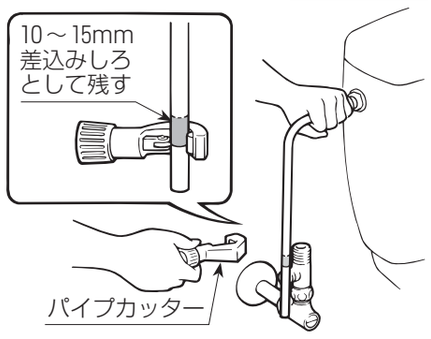
【補足 1】サプライ管の取付け



1. サプライ管を切断します。

(1) サプライ管の端（ツバのない側）を現物合わせで、分岐金具の差込しろとして 10 ～ 15mm 残るように印を付けます。

(2) パイプカッターを使ってサプライ管を切断します。 注意 18 参照



2. サプライ管を取り付けます。 注意 2 参照 注意 3 参照

(1) 切断したサプライ管にタンク側の袋ナット、分岐金具側の袋ナット、割リング、スリップワッシャー、パッキン（黒：厚さ 4mm）を通して分岐金具に差し込みます。（左記の取付図参照）

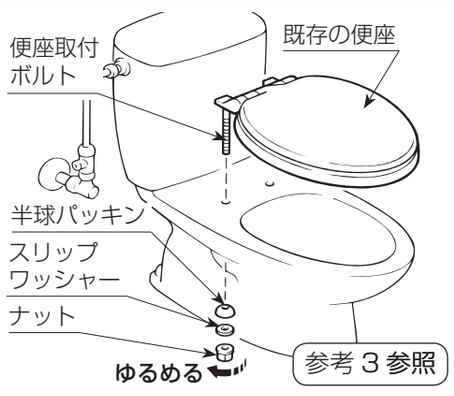
(2) ボールタップとサプライ管の間にパッキン（青：厚さ 2mm）をはさみ、タンク側の袋ナットをはじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めします。

(3) 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱいに締め付けてから工具で増締めします。
（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm} ）
増締め時、分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーレンチを当てて、分岐金具を固定しながら袋ナットを締め付けます。 注意 19 参照

【補足 2】既存の便座の取外し

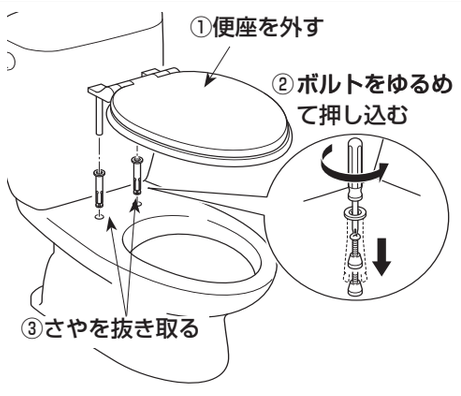
■ ボルト式の場合

便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外し、便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。



■ さや式の場合

(1) 既存の便座を持ち上げて外します。

(2) さやの中のボルトをゆるめて、ボルトを下に押し込みます。

(3) さや 2 本を便器から抜き取ります。